

成熟社会における 持続可能な水産業のあり方と その中長期戦略

2016年11月18日(金)10:00 - 17:00

プログラム

- 10:00-10:10 開会の挨拶 渡部終五 (北里大学海洋生命科学部)
- 10:10-10:30 趣旨説明 帰山雅秀 (北海道大学国際本部)
- 座 長 : 田中次郎 (東京海洋大学学術研究院)
1. 日本の持続可能な水産業に向けて
- 10:30-11:00 持続可能な地球社会の実現に向けて 江守正多 (国立環境研究所)
- 11:00-11:30 日本の水産業の特徴と変遷 八木信行 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
2. わが国を取巻く海洋環境の変化と海洋生態系
- 11:30-12:00 日本周辺海域の海洋生態系に及ぼす温暖化の影響
木村伸吾 (東京大学大気海洋研究所)
- 12:00-13:00 休 憩
- 座 長 : 大越健嗣 (東邦大学理学部)
3. グローバル化時代における日本の水産業
- 13:00-13:30 漁業管理のあり方 山川 卓 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
- 13:30-14:00 これからの養殖 升間主計 (近畿大学水産研究所)
- 14:00-14:30 成熟社会における地方の人口減少・高齢化の現状と問題点
中嶋康博 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
- 14:30-14:45 休 憩
- 座 長 : 塚本勝巳 (日本大学生物資源科学部)
- 14:45-15:15 水産流通・加工・市場と地域振興 婁 小波 (東京海洋大学学術研究院)
- 15:15-15:45 日本の置かれた状況に見合った人材育成-海外との比較も含めて
牧野光琢 (水産研究・教育機構)
4. 総合討論
- 15:50-16:50 成熟社会における持続可能な水産業のあり方と中長期の戦略
司 会 : 八木信行 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
- パネリスト : 帰山雅秀 (北海道大学国際本部) 瀧澤美奈子 (科学ジャーナリスト)
長谷成人 (水産庁) 中原裕幸 (海洋産業研究会)
- 16:50-17:00 閉会の挨拶 竹内俊郎 (東京海洋大学)

成熟社会における 持続可能な水産業のあり方と その中長期戦略

2016年11月18日(金)10:00 - 17:00

企画趣旨：

わが国の社会は、1970年代の高度経済成長、1990年代のバブル崩壊に続く、長い経済停滞期を体験したが、この変遷は農林水産業にも大きな変革をもたらした。高度情報化時代の到来も伴って、この変化は農林漁村と都市の経済的格差に基づく緊張した関係、わが国の人口減少も加わった農林漁村部の国土の荒廃など、さまざまな問題を引き起こしている。とくに水産業は、主体が天然生物資源に依存しており、漁獲量が気候変動の影響を受けやすい。また、魚価も社会・経済の影響を大きく受け、水産業の発展、成熟を困難にしている。わが国では5年前に東日本大震災による東北地方の水産業の壊滅的被害も体験しており、今後の持続可能な水産業を改めて問い直す時期にきている。本シンポジウムでは、高度経済成長後の成熟、安定化社会における水産業のあるべき姿を問うために、漁業管理、エネルギー問題、生態系保全と沿岸社会の振興、などの観点から現状の把握と中長期における将来展望を議論する。



会場：日本学術会議講堂

〒106-8555 東京都港区六本木7丁目22-34
東京メトロ千代田線「乃木坂」駅徒歩3分

■ お問い合わせ

佐野元彦（実行委員会）

E-mail: msano00@kaiyodai.ac.jp

一般公開

参加費無料
事前申込不要
当日先着順
(定員250名)

主催：日本学術会議食料科学委員会水産学分会

共催：水産・海洋科学研究連絡協議会、日本農学アカデミー、日本水産学会、東京海洋大学、北里大学海洋生命科学部

後援：大日本水産会、全国漁業協同組合連合会、水産海洋学会、日本付着生物学会、日本魚病学会、国際漁業学会、日本ベントス学会、日本魚類学会、地域漁業学会、日仏海洋学会、日本海洋学会、日本水産増殖学会、マリンバイオテクノロジー学会、日本水産工学会、日本プランクトン学会、漁業経済学会、日本藻類学会、日本海洋政策学会